

## 故障かなと思ったら

まず次の点をもう一度お調べください。

1. 停電もしくは、ブレーカーが落ちていませんか？
2. ハイブリッド・コントローラーの横P付コードが、コンセントからはずれていませんか？
3. ハイブリッド・コントローラーは、正しく設定されていますか？
- 現在時刻を確認してください。
- タイマー設定時刻を確認してください。
4. タイマー運転時間内ですか？
- タイマー設定時刻を確認してください。
- タイマー運転時間外であればハイブリッド・コントローラーのモードを **A** および **B** にしてファン運転を確認してください。
- 確認後再びモードを **タイマー** に切替えてください。
5. ハイブリッド・コントローラーのモードが **停止** になっていませんか？

※詳細な設定方法はハイブリッド・コントローラー付属の取扱説明書をご参照ください。

## アフターサービス

## 補修用性能部品の最低保有期間

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、6年です。

●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

## 不明な点や修理に関するご相談

修理に関するご相談ならびに不明な点は、お買い上げの販売店に、お問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

- 保証期間中の修理については、販売店にご相談ください。なお、ご相談されるときは、品名およびお買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 一般家庭以外（例えば業務用など）に使われたときの故障は保証期間内でも原則として有料修理になります。

## 保証書について

- この製品には「保証書」がついています。
- 保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、記入内容をご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証書にお買い上げ日、販売店名など所定事項の記入がないと有効になりません。万が一、記入がない場合は、お早めにお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 万が一故障した場合には、保証書記載内容により、保証期間内はお買い上げの販売店が無料修理いたします。

## 愛情点検

## 長年ご使用の点検を



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても時々羽根が回転しないことがある
- 回転が遅い、または回転が不規則である
- 運転中に異常な音や振動がする
- 焦げくさい“におい”がする
- その他の異常がある

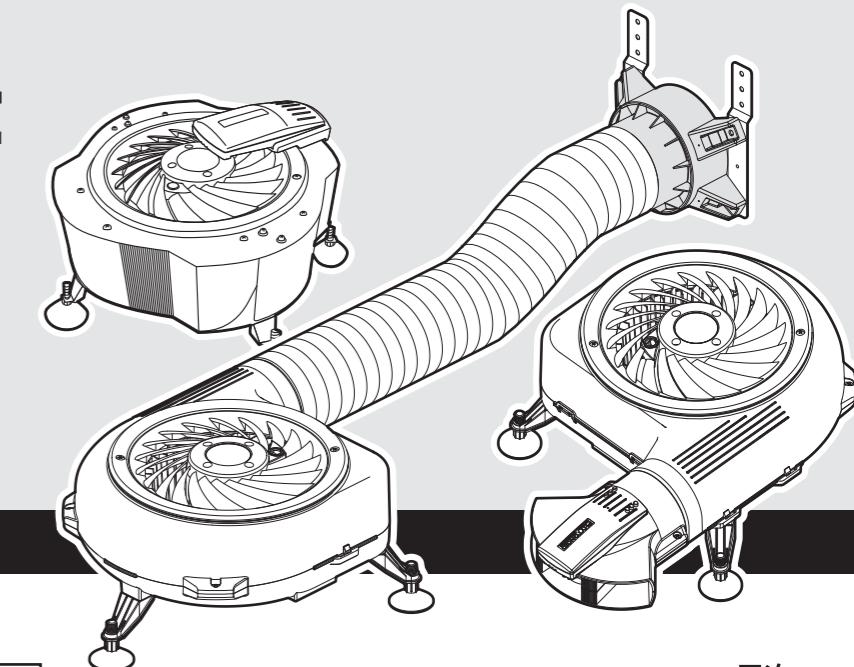
ご使用  
中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、プラグを抜いて、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

## 取扱説明書

このたびは、床下換気ハイブリッドコントロールシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

## ユニットタイプ(T)



## セット内容



## ■Type A

- プロワー型換気扇
- 拡散型送風機（ディフューザー型）
- ハイブリッド・コントローラー  
(各1台)



## ■Type B

- プロワー型換気扇
- 搅拌型送風機
- ハイブリッド・コントローラー  
(各1台)

## 目次

安全上のご注意	2
梱包内容	3
仕様	3
取付場所	4
各部の名称・外形寸法図	5/6
プロワー型換気扇の組立方法	7
ダクト工事に関する注意事項	7
プロワー型換気扇の施工方法（据置Fタイプ）	8
プロワー型換気扇の施工方法（据置Pタイプ）	9
拡散型送風機の組立方法 (ディフューザー型)	10
搅拌型送風機の組立方法	11
搅拌型送風機の組立方法 フィトンチッドホルダーの取付（参考）	12
配線および結線方法	13
工事完了後の点検	13
経年劣化に関する注意事項／memo	14/15
故障かなと思ったら	16
アフターサービス	16

## 安全上のご注意

## 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

## △警告

この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

## △注意

この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

## △警告



■仕様変更・改造・分解は絶対にしない。  
火災・感電・けがの原因となります。



■製品を水や薬剤につけたり水をかけたりしない。  
ショート・感電の恐れがあります。  
破損・変形・火災の原因になります。



■コンセントや配線器具の定格を超える  
使い方や、交流100V以外で使用しない。  
誤った配線工事は火災・感電の恐れがあります。



■さだめられた場所以外で使用しない。  
(本製品は床下専用です)  
火災・感電・けがの原因となります。



■さだめられた施工以外で使用しない。  
火災・感電・けが及び故障の原因となります。

## △注意



■運転中は危険ですから本体内部に指や物を入れない。  
感電・火傷・けがの恐れがあります。



■本体取付のときは必ず手袋などを着用する。  
けがの恐れがあります。



■水につかるところや床下地面がたえず水分をおびている住宅に取付けない。  
ショート・感電・火災の原因になります。



■製品の上に物を置かない。  
破損・変形の原因になります。



■本体吹出口部を持たない。  
けがの恐れがあります。



■固定足を持って運んだり動かしたりしない。  
破損・変形の原因になります。



■落とさない。  
破損・変形の原因になります。

## △フィトンチッドカートリッジに関するご注意

## 保管上の注意

■直射日光や高温の場所を避けて保管してください。  
■幼児の手の届かないところに保管してください。

## 使用上の注意

■このカートリッジは必ず専用の機器で使用してください。その他の使用はしないでください。  
■本品を分解しないでください。  
■天然植物精油を使用していますので火気の近くでの使用は避けてください。  
■万一、内容物がカートリッジの表面に付着していた場合は、よく拭き取って使用してください。  
■万一、内容物が皮膚についた場合は石鹼などでよく洗ってください。  
■使用済みのフィトンチッドカートリッジはプラスチックごみとして地域の条例や  
自治体の指示に従って廃棄してください。

経年劣化に係わる注意喚起のため下の内容の表示を本体の銘板付近にしています。

■【製造年】本体に西暦4ヶタで表示してあります。 ■【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

## 仕様

プロワー型換気扇	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力	26/30 [W]
	換気能力	248/231 [m³/h]
	騒音	50/48 [dB] (※1)
	質量	約 2.5 [kg] (※2)
拡散型送風機 (ディフューザー型)	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力	26/30 [W]
	風量	209/200 [m³/h]
	騒音	45/44 [dB] (※1)
	質量	約 2.9 [kg] (※2)
攪拌型送風機	定格電圧	AC100 [V]
	定格周波数	50/60 [Hz]
	定格消費電力	26/30 [W]
	風量	575/529 [m³/h]
	騒音	46/43 [dB] (※1)
	質量	約 3.8 [kg] (※2)

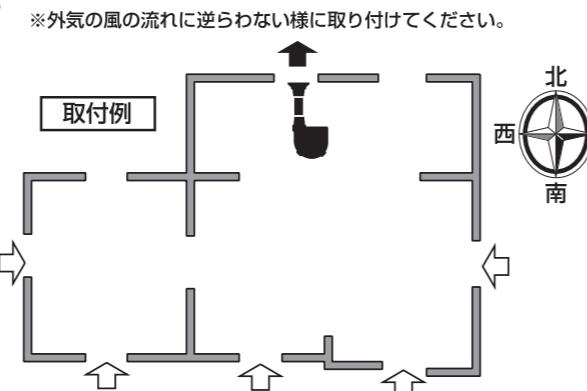
(※1) 吹出口から45° 1m地点で測定 (※2) 付属部品を除く

## 取付場所

## プロワー型換気扇 Type A Type B

本来の効果を損なうことのないよう設置位置選定と使用方法に配慮してください。

- 床下の風が、よく流れる位置に換気扇と換気口を設けてください。
- 湿気の多い場所や、水まわりの部屋付近に取り付けると効果的です。
- 吹出口からの風や騒音が隣家の迷惑にならないような場所に取り付けてください。
- 積雪により、換気口がふさがれてしまうような所は防雪の処置が必要です。
- 換気口の近くに物を置かないでください。換気性能の低下や騒音の原因になります。
- 使用可能温度条件（-5°C～40°C）以外のところに取り付けないでください。
- 風雨や風雪の吹込みがない場所を選んでください。
- 換気格子の空気抵抗が大きい場合、換気口の格子を取り除いて防虫ネットを取り付けてください。

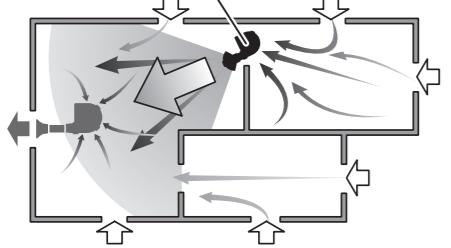


## 拡散型送風機（ディフューザー型） Type A

拡散型送風機は床下状況、目的に応じて様々な設置場所があります。（設置場所の選定は専門工事店にご相談ください）

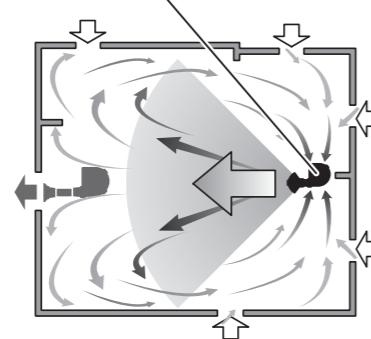
## 排気型換気扇の中継としての使用

広い床下や、入り組んだ床下などで排気型換気扇の中継としての使用ができます。



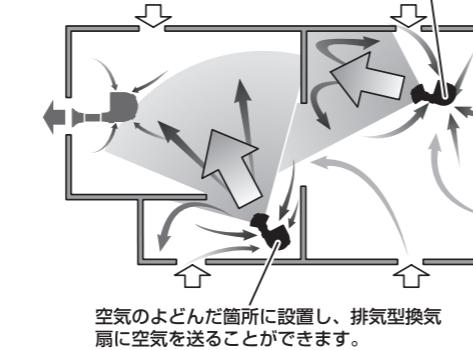
## 循環を目的とした使用

床下空間内で空気を循環させ、空気のよどみのない床下空間をつくることができます。



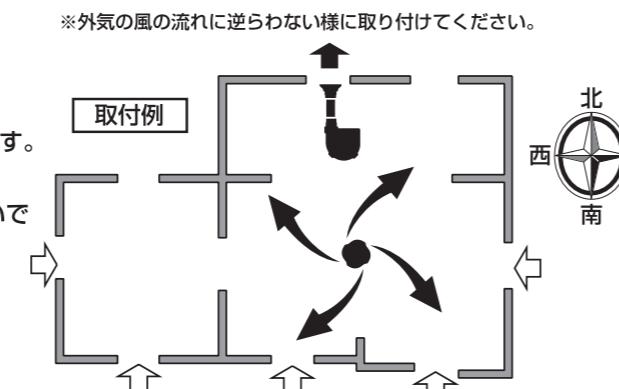
## 局所での使用

空気のよどんだ箇所をねらって風を送ることができます。



## 攪拌型送風機 Type B

- 床下の風がよどむ位置に送風機を設置してください。
- 湿気の多い場所や、水まわりの部屋付近に取り付けると効果的です。
- 風雨や風雪の吹込みがない場所を選んでください。
- 使用可能温度条件（-5°C～40°C）以外のところに取り付けないでください。



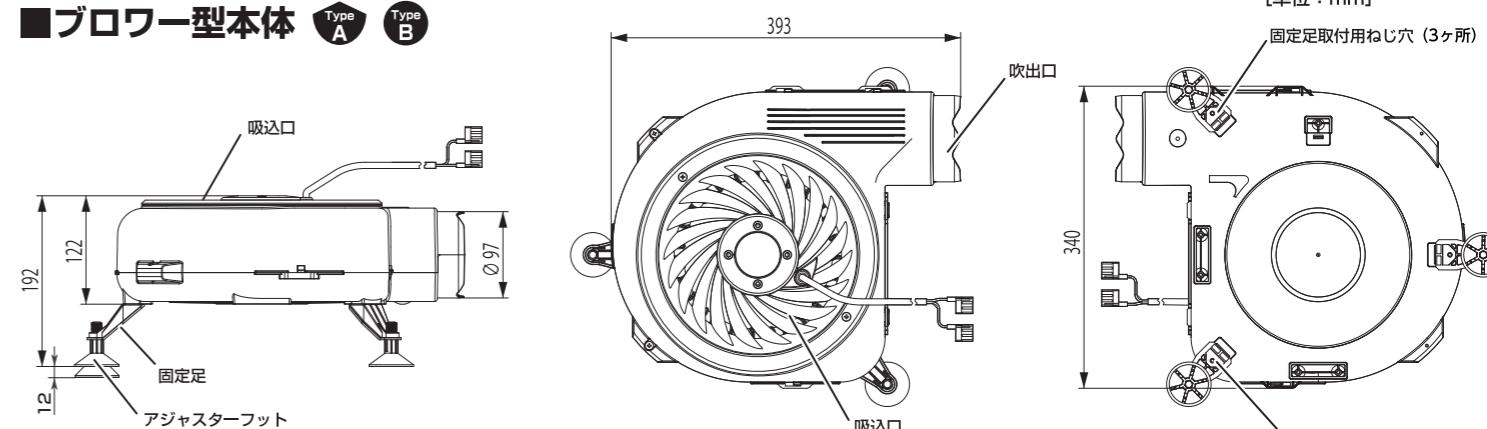
## ハイブリッド・コントローラー Type A Type B

- コンセント付近の都合の良い柱、または壁に取り付けてください。
- 換気扇を取り付けた近くの室内に取り付けてください。
- VVFケーブル・通信ケーブルを床下から立ち上げられるような板張り、又は畳の部屋に取り付けてください。
- 配線固定にはモールをご使用ください。

※詳細はハイブリッド・コントローラーの取扱説明書を参照してください。

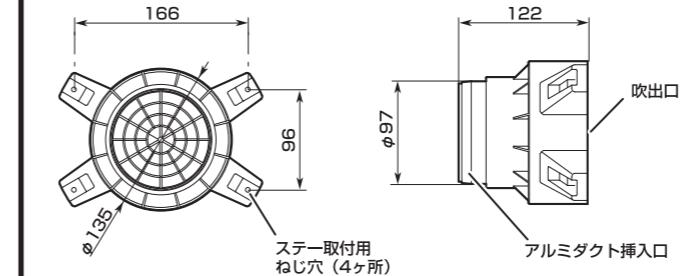
## 各部の名称・外形寸法図

## ■プロワー型本体 Type A Type B

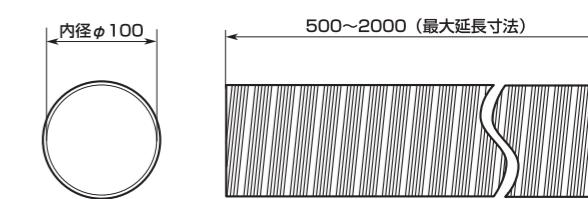


## Fタイプ ※据置Fタイプは以下の内容が含まれます。

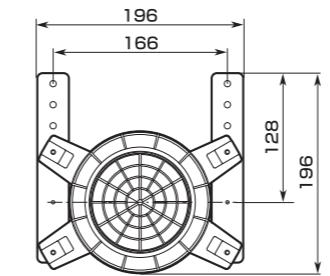
## ■吹出ノズル Type A Type B



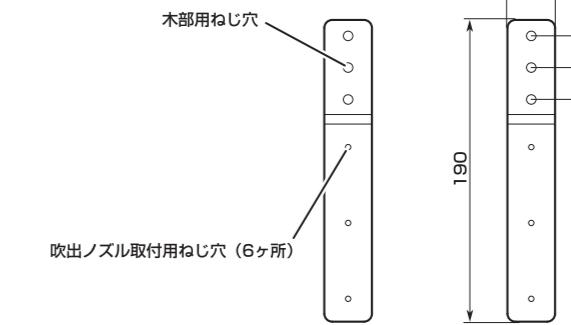
## ■アルミダクト Type A Type B



## ■吹出部完成



## ■ステー (2本1組) Type A Type B

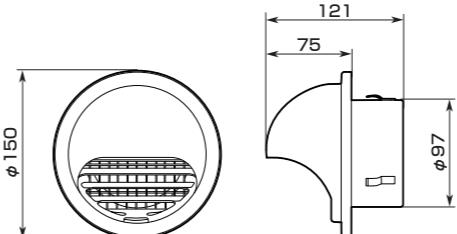


## ●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- コントローラー一式×1ヶ (※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本
- アルミテープ×2本
- 固定足+アジャスター×3ヶ
- トラスタッピングねじ (φ4×12) ×3本 (固定足取付用)
- 吹出ノズル×1ヶ
- ステー×2本

- セルフタッピングねじ (M4×16) ×4本 (ステー取付用)
- トラスタッピングねじ (φ4×16) ×4本 (ステー木部取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ (※3)

## ■パイプフード Type A Type B



## Pタイプ ※据置Pタイプは以下の内容が含まれます。

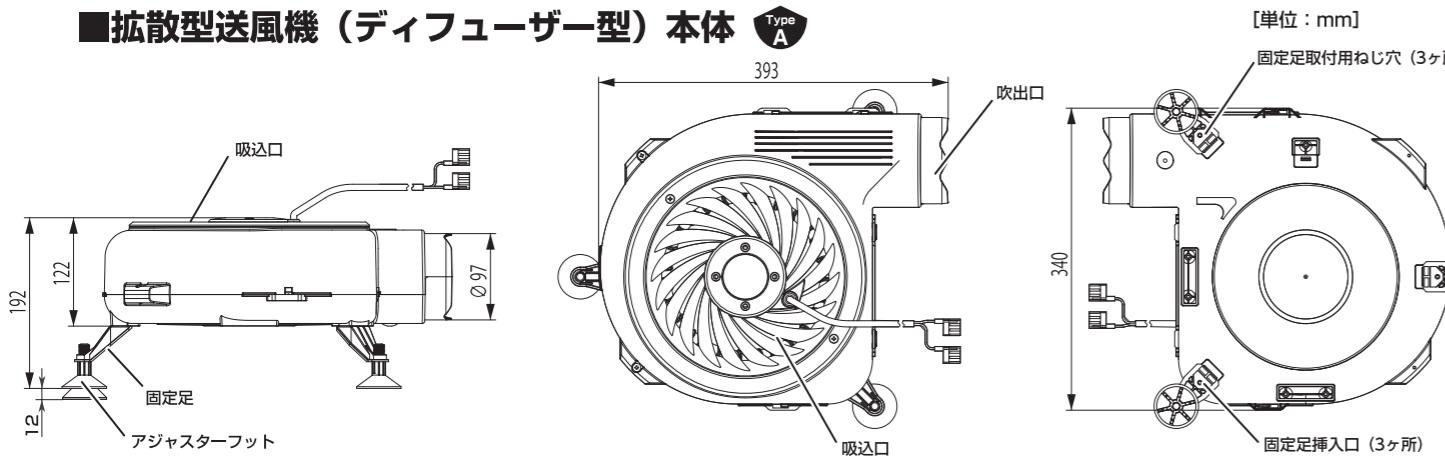
## ●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- コントローラー一式×1ヶ (※2)
- アルミダクト(最大2m)×1本
- アルミテープ×2本
- 固定足+アジャスター×3ヶ
- トラスタッピングねじ (φ4×12) ×3本 (固定足取付用)
- パイプフード×1ヶ
- コネクタキャップ×2ヶ (※3)

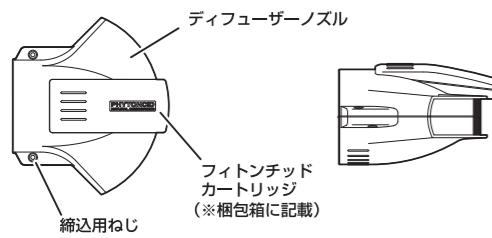
(※1) 1セットに1冊 (※2) コントローラー無しの場合は梱包箱に記載 (※3) 配線用追加分の1ヶはコントローラーに付属しています

## 各部の名称・外形寸法図

### ■拡散型送風機（ディフューザー型）本体 Type A



### ■ディフューザーノズル Type A



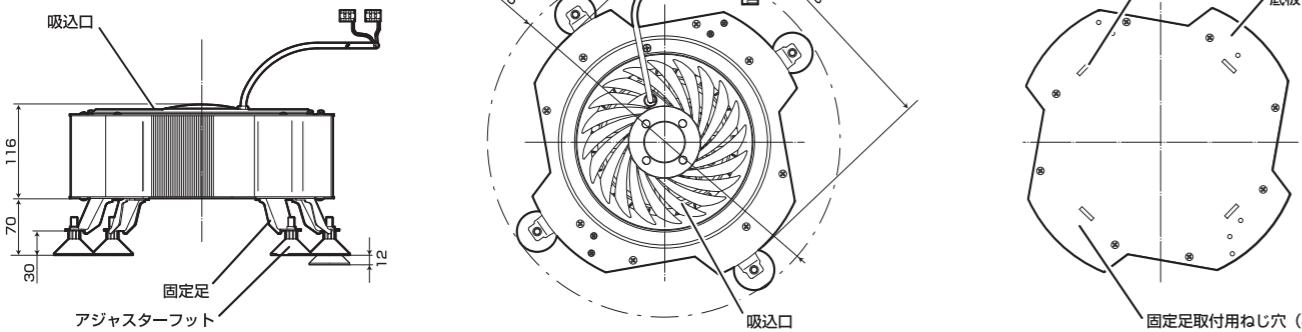
#### ●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- トラスタッピンねじ (φ4×12) ×3本 (固定足取付用)
- フィトンチッドカートリッジ×1ヶ (標準お試し版)

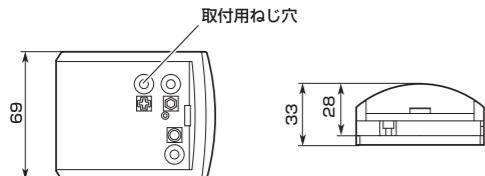
(※1) 1セットに1冊 (※2) 配線用追加分の1ヶはコントローラーに付属しています

[単位: mm]

### ■攪拌型送風機本体 Type B



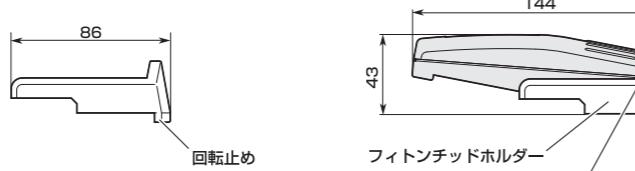
### ■フィトンチッドホルダー Type B



#### ●梱包内容 (本体1台)

- 本体×1台
- 取扱説明書×1冊 (※1)
- 保証書×1冊 (※1)
- 固定足+アジャスター (4ヶ)
- セルフタッピングねじ (M4×12) ×4本 (固定足取付用)
- コネクタキャップ×2ヶ (※2)

### ■フィトンチッドカートリッジ + フィトンチッドホルダー Type B



#### ●フィトンチッドカートリッジ×1ヶ (標準お試し版)

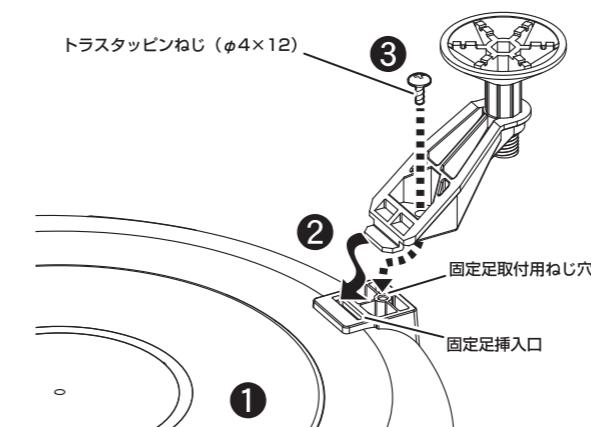
(※1) 1セットに1冊 (※2) 配線用追加分の1ヶはコントローラーに付属しています

## ブロワー型換気扇の組立方法

### 1 本体を逆さまにし、底面を上にします。

**△注意**  
●本体を逆さまにする際に吸入口を地面にすりつけたり、たきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

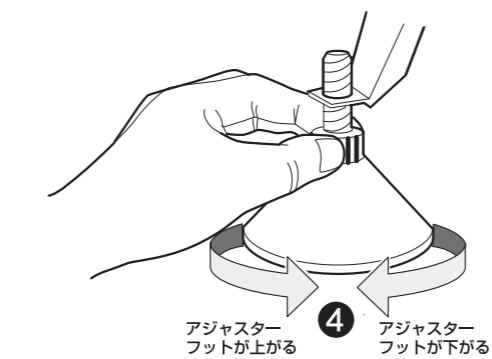
### 2 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差し込みます。



### 3 底面の固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、付属のト拉斯タッピンねじ (φ4×12) で締め付け、固定します。 ※②～③をくりかえして固定足を3ヶ所取り付けます。

**△注意**  
●ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

### 4 本体をもとにもどし、本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスター (アジャスター) の高さを調整します。 ※時計方向にまわすとアジャスター (アジャスター) が下がります。 反時計方向にまわすとアジャスター (アジャスター) が上がります。



**△注意**  
●据置面が水平であるか確認して据え置いてください。  
●据え置く時はアジャスター (アジャスター) の下に小石などがないことをご確認ください。  
●固定足を持って運んだり、施工時に押したり引いたりしないでください。  
破損・変形の原因となります。

## ダクト工事に関する注意事項

次のようなダクト工事はしないでください。(性能低下や騒音の原因になります)



極端な曲げ



多数の曲げ



吹出口付近での曲げ

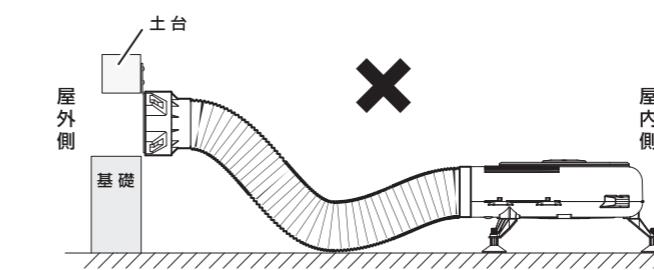


変形

アルミダクトは屋外側に1°～2°下りこう配にし、本体までたるませずに接続してください。

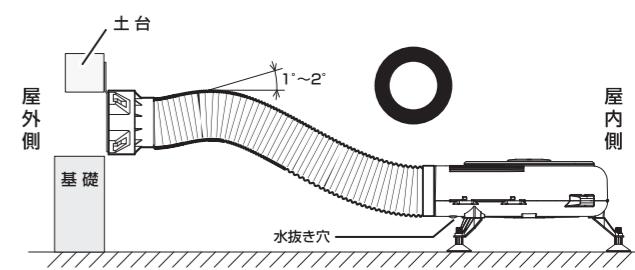
**△注意**

- 屋外からの雨水等がアルミダクトにたまらないようにしてください。
- 吊りバンドはダクトが垂れないように場所を選んで取り付けてください。

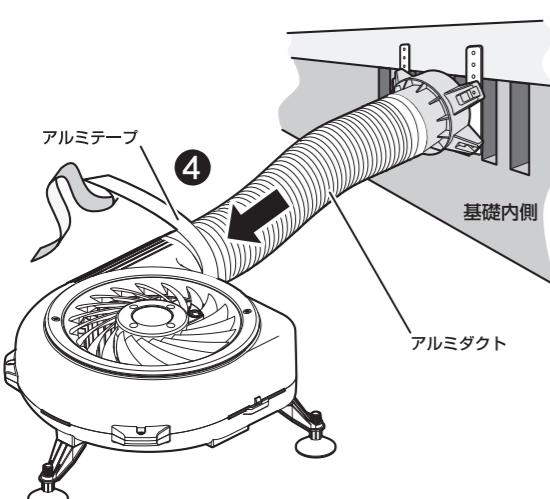
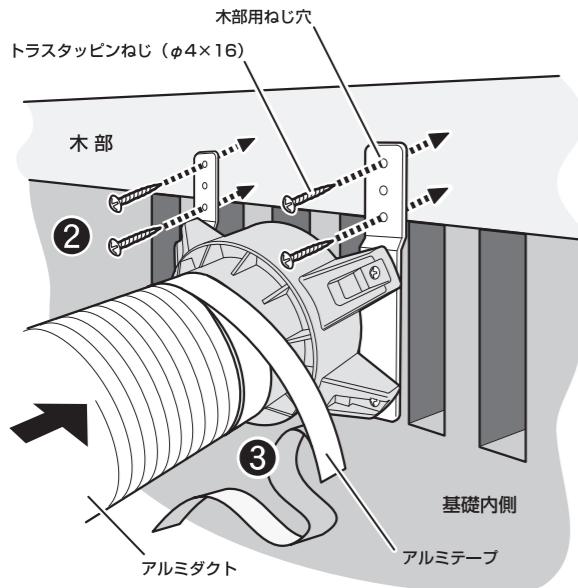
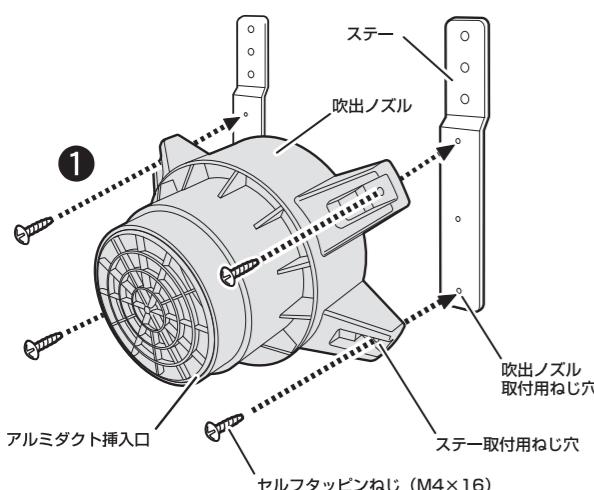


### 結露対策について

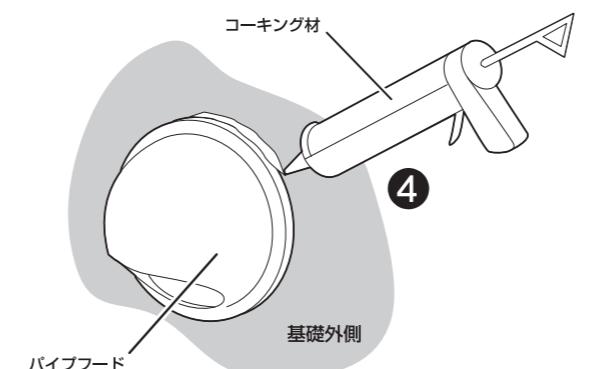
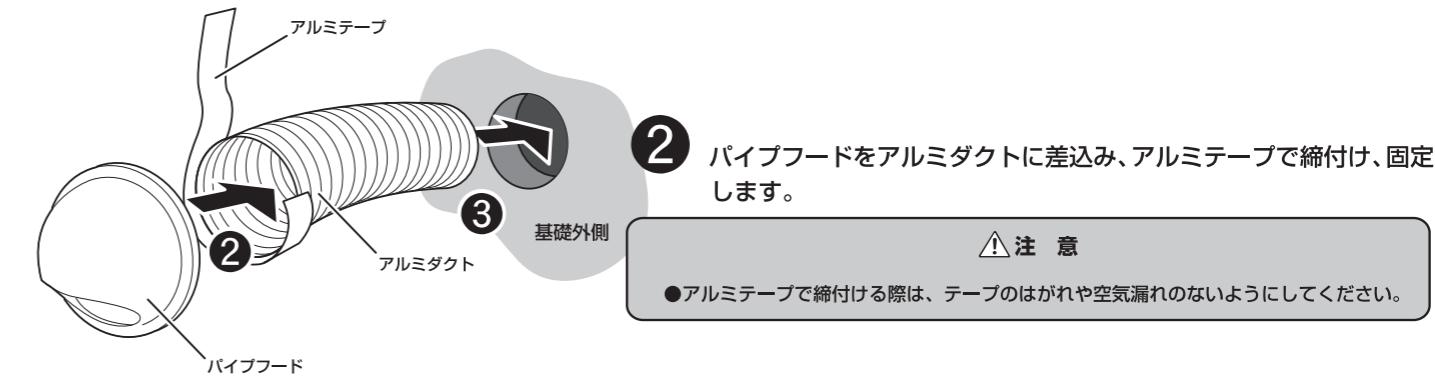
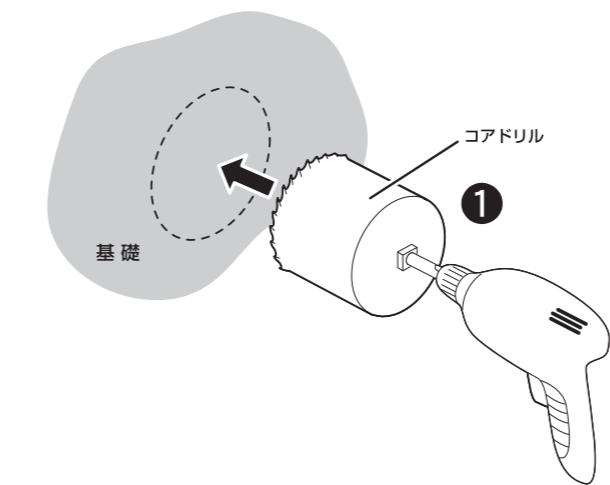
●冬期など周囲温度とダクトの温度差のためダクトが結露する際は(特に寒冷地)、ダクトに断熱材を巻くか、断熱対策がなされているダクト(市販品)の使用をおおすすめします。



## ブロワー型換気扇の施工方法（据置Fタイプ）

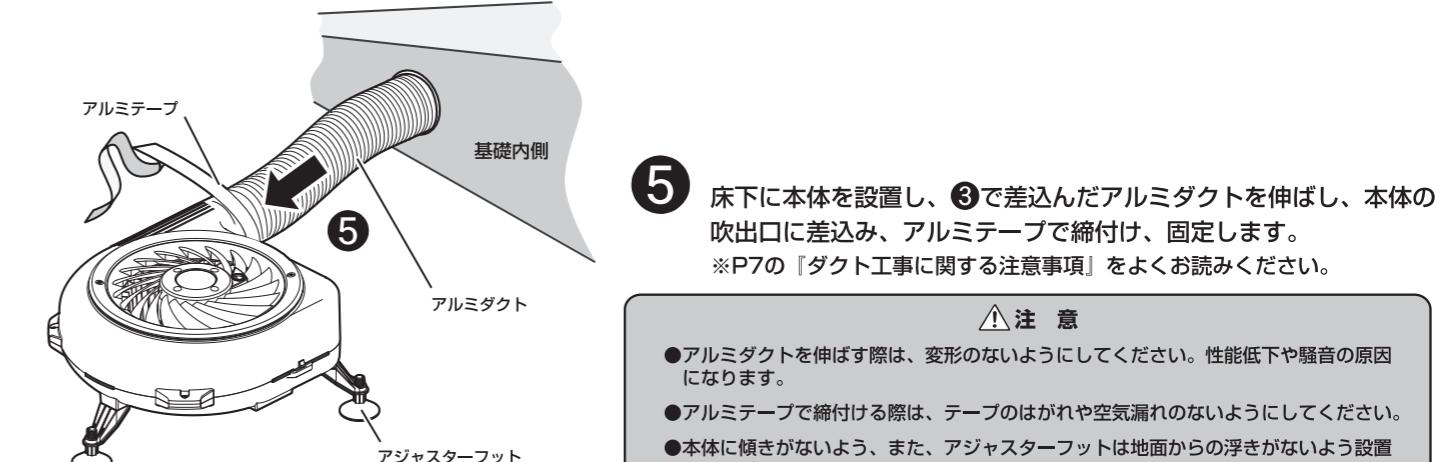


## ブロワー型換気扇の施工方法（据置Pタイプ）

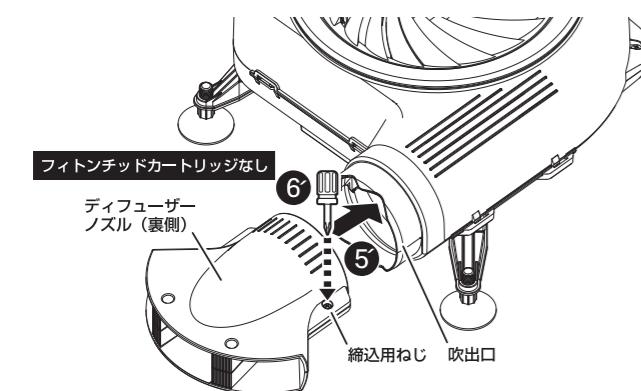
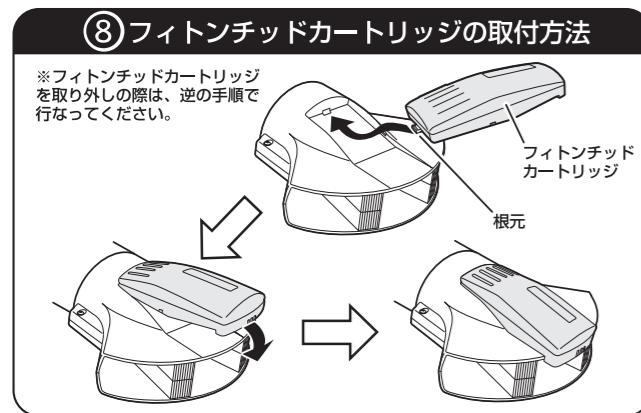
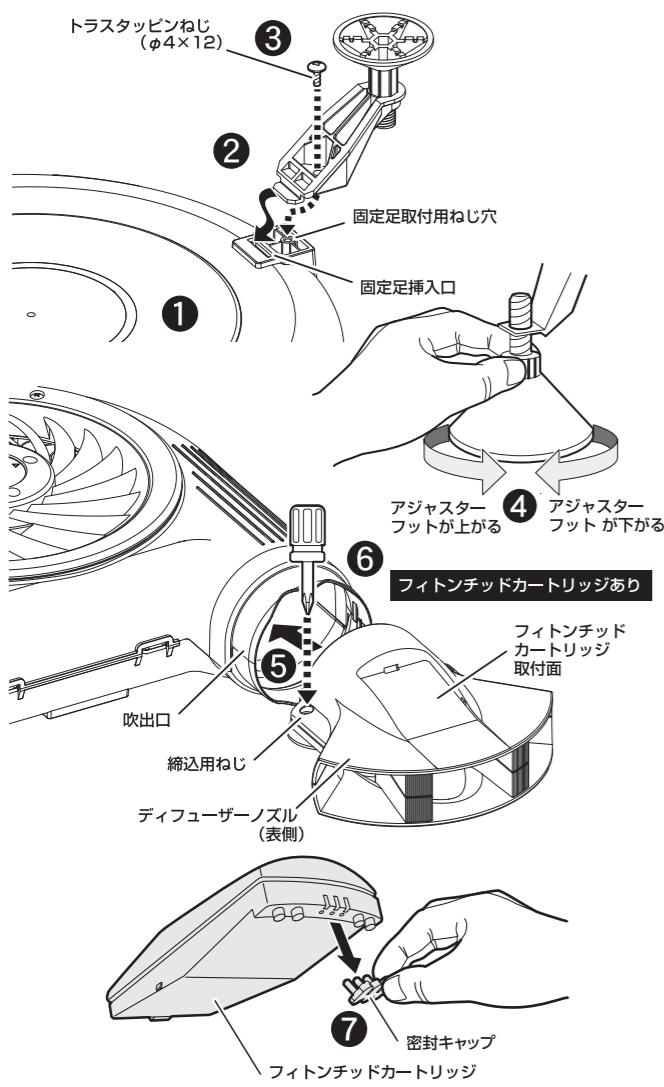


4 パイプフードと基礎のすき間を市販のコーティング材でコーティングします。

※变成シリコンをコーティング材として使用すると後に塗装ができます。



## 拡散型送風機（ディフューザー型）の組立方法



使用済みのフィトンチッドカートリッジはプラスチックごみとして地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

- 1 本体を逆さまにし、底面を上にします。  
●本体を逆さまにする際に吸入口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。
- 2 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差し込みます。
- 3 固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、付属のトラスタッピングねじ（φ4×12）で締め付け、固定します。  
※②～③をくりかえして固定足を3ヶ所取り付けます。  
●ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。
- 4 本体をもとにもどします。本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスター足の高さを調整します。  
※時計方向にまわすとアジャスター足が下がり、反時計方向にまわすとアジャスター足が上がります。  
●地面が水平であるか確認して据え置いてください。  
●据え置く時はアジャスター足の下に小石などがないことをご確認ください。  
●固定足を持って運んだり、施工時に押したり引いたりしないでください。破損・変形の原因となります。

- 5 ディフューザーノズルを本体の吹出口に差し込みます。  
フィトンチッドカートリッジ取付部を上にして取り付けてください。

- △ 注意**
- フィトンチッドカートリッジ取付面を上面にして差し込んでください。  
内容物がこぼれる恐れがあります。
  - ディフューザーノズルを地面に対して水平にして取り付けてください。

- 6 ディフューザーノズルの締込用ねじを締め付け、固定します。

- △ 注意**
- ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

- 7 フィトンチッドカートリッジの密封キャップを外します。

- 8 ディフューザーノズルにフィトンチッドカートリッジを取り付けます。  
※フィトンチッドカートリッジのツメ部を差し込み、ツメ部を支点に取り付けてください。

- △ 注意**
- 確実に取り付けられていることをご確認ください。

- ※標準お試し版フィトンチッドの効果は約3～4カ月です。  
(送風機の使用環境によって異なります)  
カートリッジの交換の際は左図を参照してください。

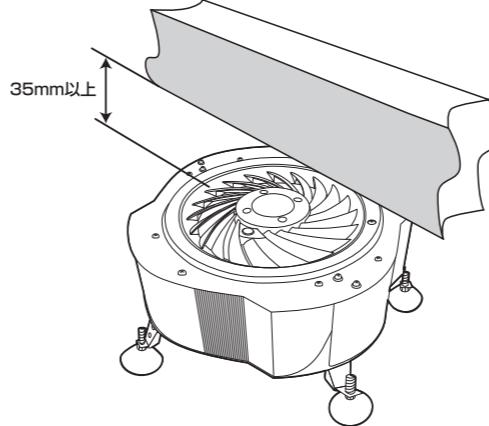
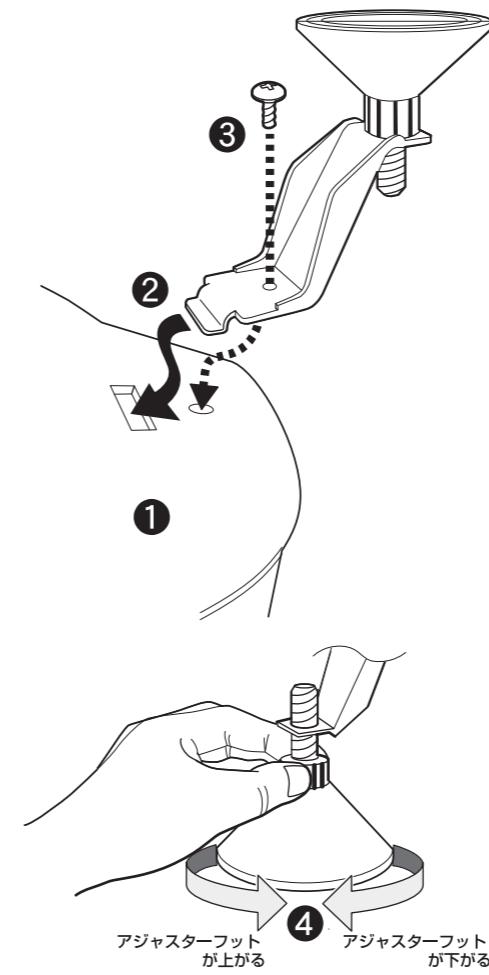
- 5 ディフューザーノズルを本体の吹出口に差し込みます。  
フィトンチッドカートリッジ取付部を下にして取り付けてください。

- △ 注意**
- ディフューザーノズルを地面に対して水平にして取り付けてください。

- 6 ディフューザーノズルの締込用ねじを締め付け、固定します。

- △ 注意**
- ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

## 攪拌型送風機の組立方法



- 1 本体を逆さまにし、底板面を上にします。  
●本体を逆さまにする際に吸入口を地面にすりつけたり、たたきつけたりしないでください。破損・変形の原因になります。

- 2 固定足挿入口に合わせて固定足の先を差し込みます。

- 3 底板の固定足取付用ねじ穴に固定足の穴を合わせ、付属されているセルフタッピングねじ（M4×12）で締め付け、固定します。  
※①～③をくりかえして固定足を4ヶ所取り付けます。

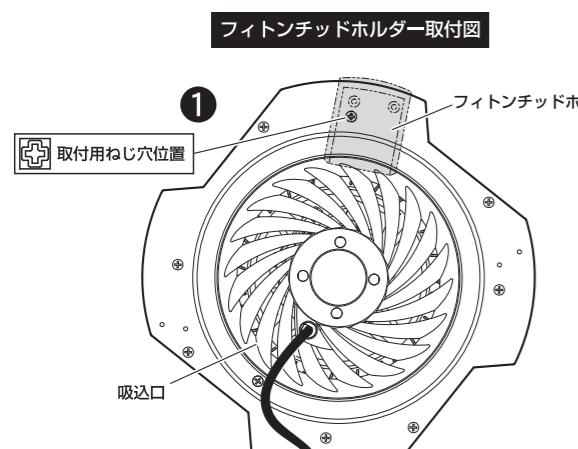
- △ 注意**
- ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。

- 4 本体をもとにもどします。本体が水平になり、また、がたつきがないようにアジャスター足の高さを調整します。  
※時計方向にまわすとアジャスター足が下がり、反時計方向にまわすとアジャスター足が上がります。

- △ 注意**
- 据置面が水平であるか確認して据え置きしてください。
  - 据え置く時はアジャスター足の下に小石などがないことをご確認ください。
  - 固定足を持って運んだり、施工時に押したり引いたりしないでください。破損・変形の原因となります。

- △ 注意**
- 障害物がある場合、吸入口からは35mm以上はなしてください。

## 搅拌型送風機の組立方法 フィトンチッドホルダーの取付（参考）



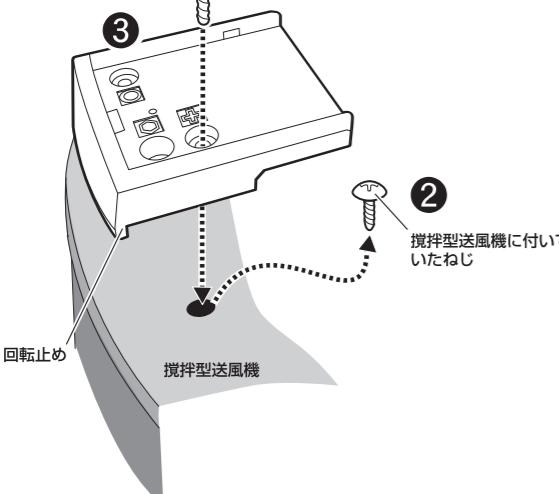
- 1 左図（フィトンチッドホルダー取付図）を参照して、搅拌型送風機にフィトンチッドホルダーを取り付ける位置と取付用ねじ穴位置を確認します。  
取り付ける搅拌型送風機によってねじ止めする取付用ねじ穴位置が異なります。

**注意**

●搅拌型送風機の吸入口を下向きに取り付ける場合はフィトンチッドカートリッジは取り付けできません。フィトンチッドカートリッジが落下する恐れがあります。

- 2 取付用ねじ穴位置にあるねじを、搅拌型送風機からはずします。

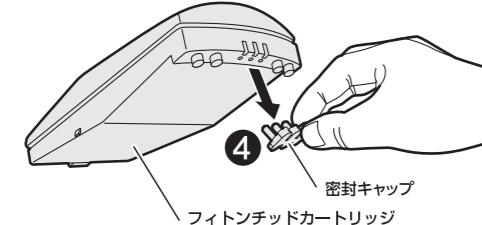
※取りはずしたねじは使用しません。金属ごみとして地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



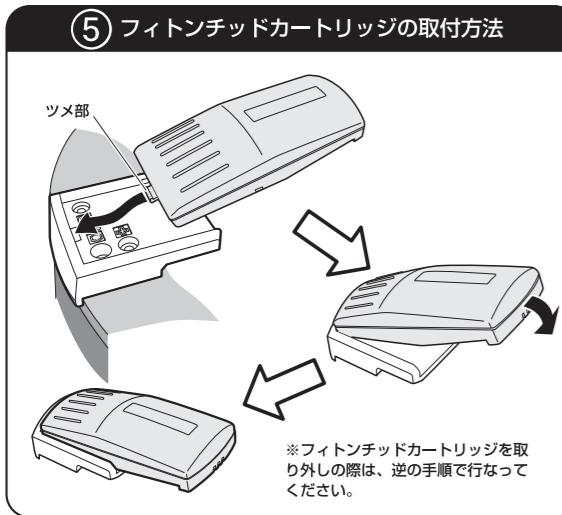
- 3 ②ではずしたねじ穴位置にフィトンチッドホルダーの取付用ねじ穴を合わせ、付属のトラスタッピングねじ（φ4×20）で締め付け、固定します。  
※フィトンチッドホルダーの回転止めを、搅拌型外周の縁に合わせてください。

**注意**

●ねじの締め過ぎにご注意ください。破損の恐れがあります。  
適正締め付けトルク：1.2～1.5N·m (12.2～15.3kgf·cm)  
●必ず付属のねじで締め付けてください。搅拌型送風機に付いていたねじで締め付けると破損の恐れがあります。



- 4 フィトンチッドカートリッジの密封キャップを外します。



- 5 フィトンチッドホルダーにフィトンチッドカートリッジのツメ部を差し込み、ツメ部を支点として取り付けます。

**注意**

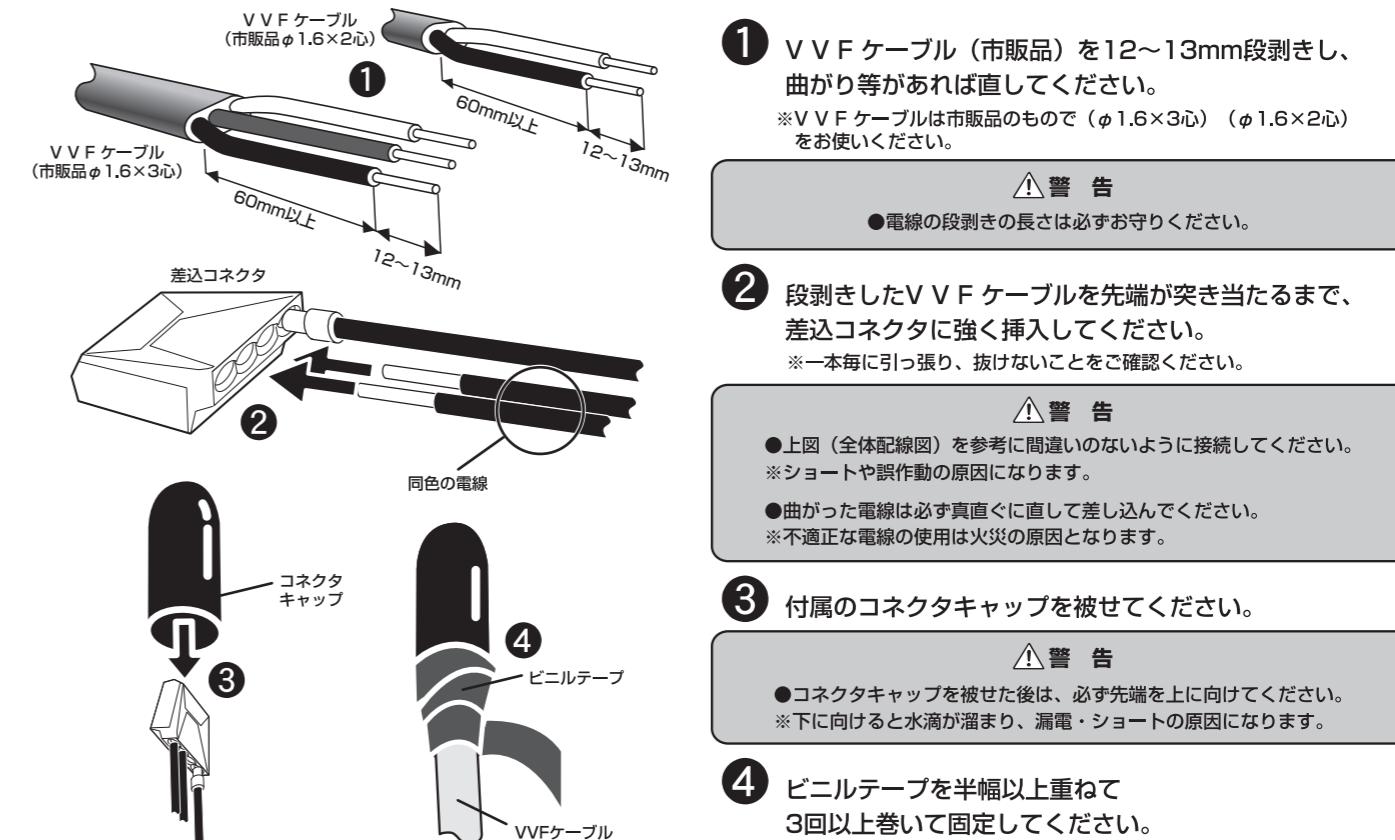
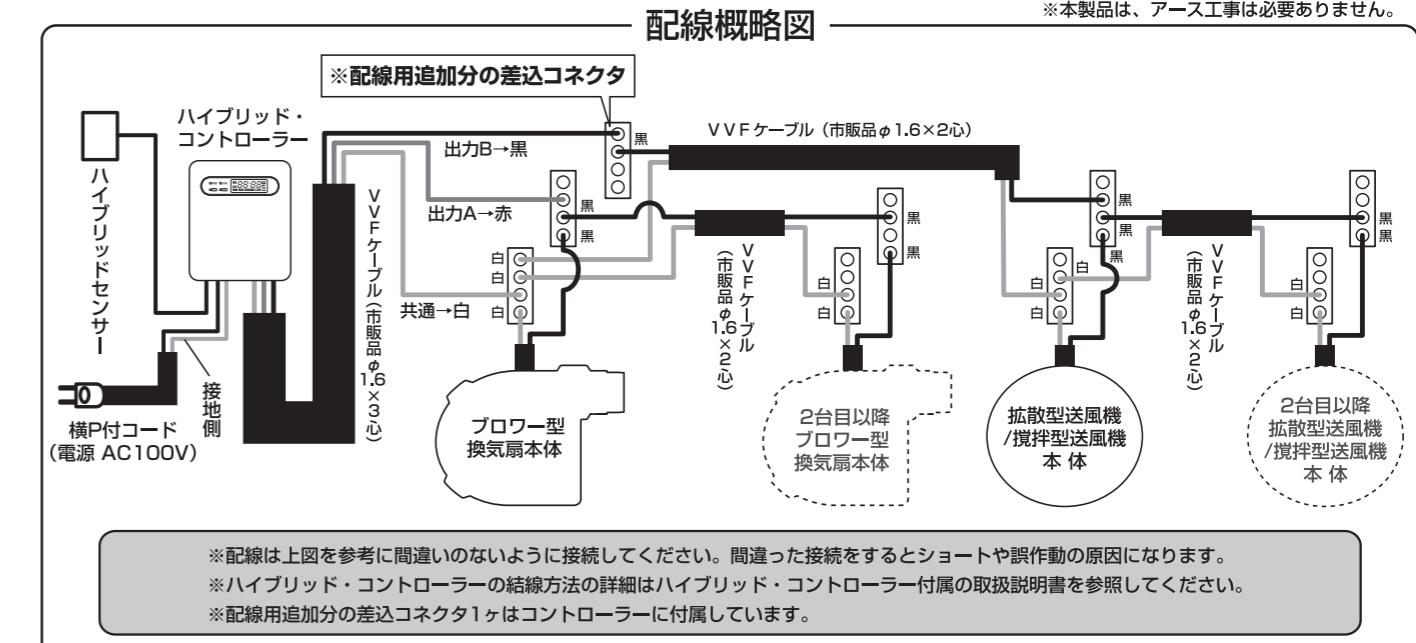
●確実に取り付けられていることをご確認ください。

※標準お試し版フィトンチッドの効果は約3～4カ月です。  
(送風機の使用環境によって異なります)  
カートリッジの交換の際は左図を参照してください。

使用済みのフィトンチッドカートリッジはプラスチックごみとして地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

## 配線および結線方法

※本製品は、アース工事は必要ありません。



## 工事完了後の点検

### 取付の確認

本体・アルミダクト・吹出ノズルおよびハイブリッド・コントローラーが正しく取り付けられているか確認してください。

### 運転の確認

- コンセントに横P付コードを差し込み、ハイブリッド・コントローラーのモードを **A** および **B** にして換気システムが正常に運転していることを確認してください。
- 換気システムを運転している時に、振動音や異常音がないか確認してください。
- ハイブリッド・コントローラーのモードを **タイマー** にしてください。  
※ハイブリッド・コントローラーの使用方法は、ハイブリッド・コントローラー付属の取扱説明書をご参照ください。

## お客さまへ

## 床下・小屋裏換気扇を安全・安心してご使用していただくために



**製品事故を防ぎ、換気扇を長く安全に使うために、必ず5・10年点検を実施し、安全を確認した上で継続使用してください。**

※使用が10年を経過した製品は点検を実施するまでは使用を停止し、点検後に再度ご使用頂きます様お願いします。

## 【床下・小屋裏換気扇は長期使用製品安全表示制度の対象製品です】

弊社換気扇及び送風機の設計上の**標準使用期間**は「**10年**」と設定しています。(経済産業省 長期使用製品安全表示制度)

※使用が10年を経過した製品については製品の買い替え又は、安全重要部品(モーターや接続部品)の交換をおすすめします。

床下・小屋裏換気扇は湿気や埃等の多い環境での使用となり、長期使用により、腐食・接触不良・塵埃堆積など劣化が進んでいたり、故障している可能性があります。床下・小屋裏換気扇は使用前の点検・確認が容易ではないため

**経年劣化状態や故障状態のまま使い続けていると製品焼損・発火等の事故に至るおそれがあります。**

## ●セルフチェック(経年劣化の目安)

モーターカバー表面のサビが30%を超えている場合、モーターなど安全重要部品の交換時期となります。

注意:特に塩害地域(※1)や使用期間15年以上の換気扇は異音等問題なく動作していても、モーターなど内部部品が劣化し、発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

## 【点検について】

- 点検は換気扇を販売・施工した業者へ問い合わせ及び依頼をお願いします。

- 販売施工した業者が不明、連絡がつかない、廃業したなどの場合、

弊社へお問い合わせ頂きましたと点検等対応可能な業者をご紹介いたします。

※基本的に点検や部品交換費用はお客様負担となります。

## 【使用開始日 記入欄】

年 月 日

## ・施工業者名

( )

## (※1) 塩害地域の目安

- 概ね海岸から2km以内の地域(北海道日本海側および東北日本海側を除く)

- 北海道日本海側(松前町～稚内市)および東北日本海側(青森県東通村～山形県鶴岡市)は海岸から7km以内の地域

- 沖縄および離島は全域

memo